

いしのまき観光大使 令和5年度追加任命者（報道陣向け資料）

No.	氏名		プロフィール
1		<p>ほしの まゆみ 星野 真弓 刺繍家</p> <p>東京都出身</p>	<p>日本橋三越本店特選雑貨GM席退職後、フランスにてデッサンや刺繍画を習う。その後、刺繍家として国内外問わず精力的に活動し、世界からも注目されている。</p> <p>東日本大震災後の2012年3月に、石巻市役所に鎮魂の刺繍画「テディベア」を寄贈いただき、そこから復興支援を通して交流を続け、仮設住宅などで定期的に刺繍教室や心の復興支援活動（家族を亡くされた方々への心のケア）が始まった。</p> <p>2015年には、「一般社団法人三月のひまわり」を設立。復興庁の事業にも参加され、石巻市内の小学生へワークショップなどを開催。全国各地で復興応援活動や防災イベント、命の大切さを伝える絵本の朗読会を行ってきた。</p> <p>石巻市で見上げた『桜』をイメージした刺繍画を国連欧州本部などで展示し、国内外で高い評価を得ており、作品を通して本市を知っていただく機会を作った。</p> <p>2023年11月、三越劇場チャリティイベント「関東大震災から100年・東日本大震災から12年・『あの日・あの時・今』～それぞれのレジリエンス物語～」を企画し、刺繍画の売上金（5万円）を本市へ寄附いただいた。</p> <p>2024年3月には、フランス・パリで開催される世界芸術競技会に日本人アーティストとして選出され、新作『未来の金華山』をPRすることとしている。</p> <p>「心の復興にエールを送れたら・・・」との思いから、震災から12年を迎えた今でも変わらず、離れた場所から見守る形だが、作品を通して縁は繋がっていると話す。</p>